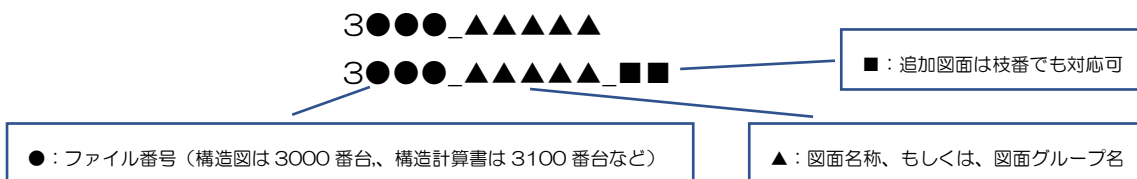


【構造図書】 電子図書 (PDF) の構成について

電子図書 (PDF) の構成等について、下記具体例のような、データの構成・分割に、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 共通確認事項

- PDF のファイルは、審査側でメモ書きできるよう、プロテクトがかからない形式でデータ化をお願いします。
- PDF の解像度は 300dpi 以上として下さい。
- 図書は A4 版または A3 版での印刷に対応した PDF として下さい。
- PDF は可変性がない状態として下さい。
 - ↳ PDF に直接書き込みを行った場合、PDF を再度 PDF として出力等の処理をして、可変性のない状態として下さい。
- 受信 (アップロード) について、ファイル数には制限がありませんが、データ容量は操作性の良さを考慮して 1 ファイルあたり 50MB を上限の目安に分割をお願いします。
- また、**電子申請では、事前申請 (事前審査) 時・本申請時ともに、補正を行う場合は、データファイル毎の補正・更新となります。**電子申請時は、補正時のデータ更新を考慮して、関連図面ごとに、できるだけファイルを分割くださいますようお願いいたします。
- 分割したファイルには、以下のルールで、ファイル名を作成願います。



2. 「構造図」の構成とデータ分割について

- 構造図 (PDF ファイル) の構成は、基本的には、通常、設計者が作成する図面構成としていただいて構いませんが、2 ページ目の構造図データ構成例はご一読のほど、よろしくお願いいたします。
- 構造図 (PDF ファイル) の分割について、上記のとおり、操作性の良さを考慮して 1 ファイルあたり 50MB を上限の目安に分割をお願いします。

3. 「構造計算書」の構成とデータ分割について

- 構造計算書 (PDF ファイル) の構成は、基本的には、通常、設計者が作成する構造計算書の構成としていただいて構いませんが、3 ページ目の構造計算書データ構成例はご一読のほど、よろしくお願いいたします。
- 構造計算書 (PDF ファイル) の分割について、**構造計算書データは、目次の章 (セクション) 毎に、必ず分割**をお願いします。なお、分割にあたっては、上記のとおり、操作性の良さを考慮して 1 ファイルあたり 50MB を上限の目安に分割をお願いします。

4. 電子データの送付先

- メールアドレス : kakunin-kouzou@gbrc.or.jp .

<構造図のデータ構成とファイル分割 例>

ファイル番号	図面名称 (図面グループ名称)
3001	特記仕様書
3002	標準仕様書
3003	標準図 (S、RC、SRC、地盤改良、認定柱脚、梁貫通孔補強等)
3004	地質調査図 (柱状図)
3005	杭伏図、基礎伏図
3006	各階伏図
3007	軸組図
3008	杭リスト
3009	基礎リスト
3010	杭芯線図
3011	柱リスト
3012	大梁リスト
3013	小梁、スラブ、壁リスト
3014	架構配筋図、鉄骨詳細図
3015	雑詳細図
3016	ボイドスラブ、PC板など

<構造計算書のデータ構成とファイル分割 例>

ファイル番号	項目	備考
3101	表紙	構造設計者（及び法適合確認者）の記名・構造設計一級建築士の表示・安全証明書（必要に応じて）
3102	目次	計算書全体の構成が把握できるもの
3103	構造設計方針	構造上の特徴、構造設計方針、適用する構造計算及び使用プログラムの概要
3104	仮定荷重	床、壁、特殊荷重（設備、増し打ち等）
3105	二次部材の設計	スラブ、小梁、階段、設備架台等（突出部の鉛直・水平1Gの検討含む）等
3106	別途検討	一貫計算プログラムメッセージへの対応検討、斜め加力、転倒の検討（塔状比>4の場合）、外壁突出部の水平1Gの検討 等
3107	基礎の設計	地盤・基礎ぐいの許容応力度計算（地質調査報告書等を含む）等
3108	入力データ根拠	モデル化（構造芯、構造階高、剛性増大率等）／追加荷重（補正重量等）
3109	プログラムの認定書等の写し	大臣認定プログラムの場合（指定書・別添含む）
3110	チェックリスト	
3111	一貫計算構造計算書出力	ヘッダー、フッター、ページ等で一連の出力であることが確認でき、終了メッセージまで添付されたもの（エコー含む）
3112	その他の検討	梁貫通孔補強、機械式定着金物、温度応力、モデル化が複数ある場合の別モデルにかかる検討 等
3113	認定書等の写し	使用材料等